

進路指導部通信

県立高等特別支援学校

進路指導部

2022.4.15 NO. 1



今年度、第1号となる進路指導部通信です。この通信を通して「働く」ということについて様々な情報を提供できればと思っております。よろしく申し上げます。

さて、新入生のみなさんご入学おめでとうございます。

毎日のスケジュールをこなすだけで精一杯でしょうが、一日も早く学校に慣れてください。そのためには欠席遅刻早退なく過ごすことです。その他、詳しくは27日の宿泊訓練（校内）の場でお話させていただきます。

2年生は働く力の基礎（土台）を固める大切な1年となります。「進路といってもまだまだ先」と思うかもしれませんが、しかしながら「ローマは一日にして成らず」です。この1年の取り組みが大切になってきます。そういう意味では「難しく大切な1年」と言えると思います。

3年生は進路決定の1年となります。これまでの実習は時期も決まっていたましたが結合実習はそうはいきません。早いなら早いで「ここでのいいのだろうか？」と迷い、遅ければ遅いで「まだか？」と焦りも出てきます。元来、就職活動というのは見通しの立てられない中に踏み出すものです。ましてこのコロナ禍の中、なおさらであると言えます。自分の進路と向き合いつつ、「就職する」という狭い範囲に留まらず、良き社会人となり、自立への実りある第一歩になるようにして欲しいと思います。

本校は職業科の特別支援学校です。卒業後は就職することを目指しています。ただ、大切なのは働き続けることです。就職することはスタートであってゴールではありません。卒業と同時に就職するということが本人にとって

良いとは限りません。更に「働く力」をつけることが必要であれば、訓練校や移行支援事業所等に進むことも選択肢のひとつです。

では、「働く力」とは何か？「働く」^{イコール}＝「作業ができる」と考える人が多いと思います。作業力がなくても大丈夫とは言いませんが、企業は作業力だけを求めているわけではありません。学力（勉強）でもありません。卒業生の就労先を回っていて褒められる内容の1位は「休まず仕事に来る」2位は「あいさつができる」3位が「一生懸命手を抜かずに仕事をす

る」です。また、ハローワークや支援センターの方々からのアドバイスも参考にまとめたのが、「働くための4つの力（4本柱）」で ①働く意欲 ②健康 ③生活の安定 ④社会性です。これは進路の話をするときに「これが高等特別支援学校の生きる道」と言っているものです。普段はあまり意識して行動するわけではないと思いますが、時には自分自身の取り組みを振り返って確認していくことが大切です。

定着率について

本校では「働き続ける」ことをあらゆる目安として「3年後の定着率（卒業時の職場で3年後も働き続けている割合）」を学校案内の資料にものせています。今年は23期生が卒業して3年たつのですが、定着率97%と統計をとりだしてから8年目で最高の数字となりました。それも卒業してから2年11か月目までは100%という状態でした。退職とはなりましたが、会社の方からも「これまでよくやってくれた。辞められるのは残念だが、新しいところでも頑張っ

て欲しい」と言っていただきました。

転職というのも今では珍しい事ではありませんが、大事なものは「辞め方」だと思います。この先輩のようにしっかりと勤め上げて新しいところに旅立って欲しいと思いました。